

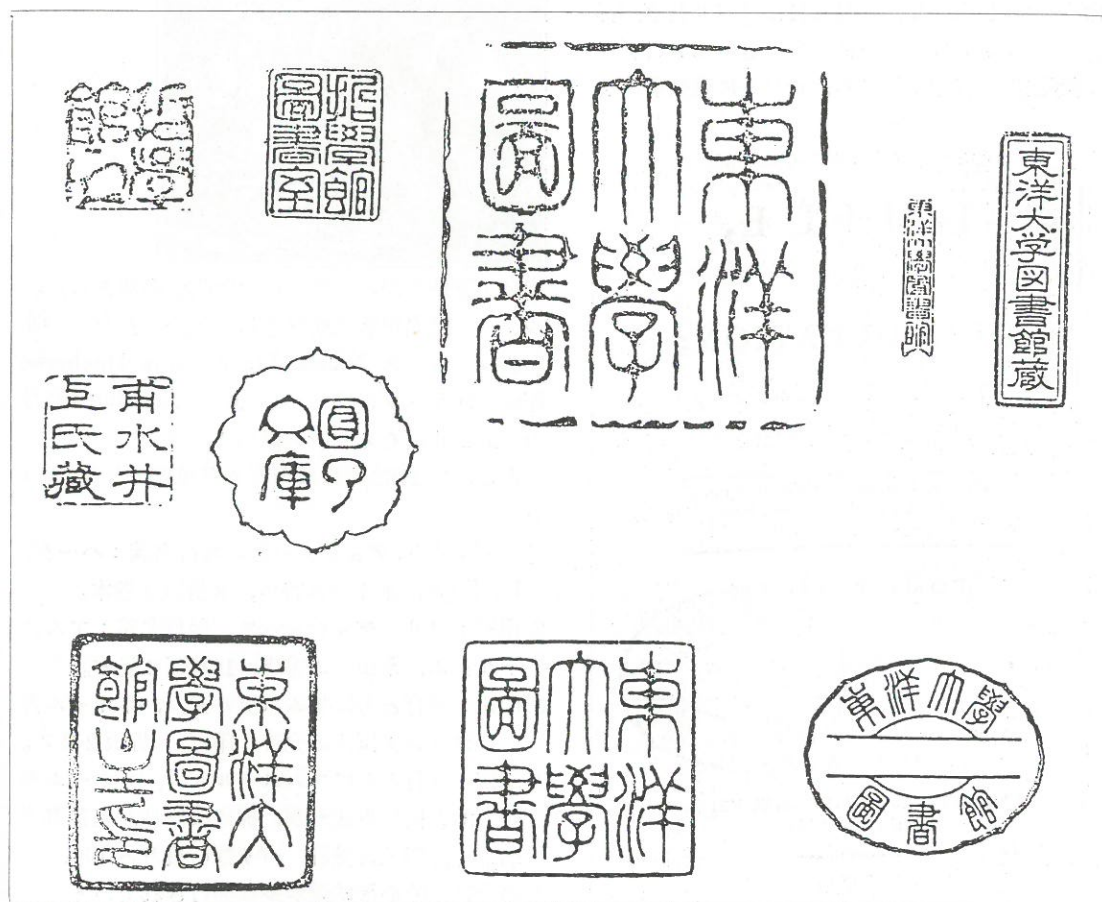
# KOΣMOΣ



コスモス No. 79 1987 秋

特集

## 東洋大学図書館の100年



東洋大学附属図書館蔵書印譜（縮少70%）

## 貴重書から

ジャン＝ジャック・ルソー

『エミール』 1791年出版 12折版 全4巻  
——パリ、ドゥフェール・ドゥ・

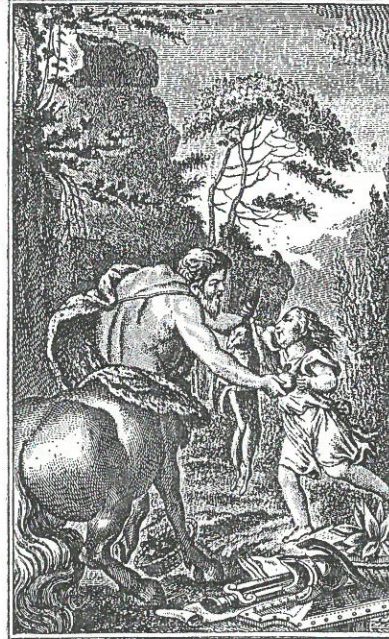
メゾヌーヴ書店発行——

宮 治 弘 之

『エミール、または教育について』EMILE, ou DE L'EDUCATION は、「ジュネーヴの市民」ジャン＝ジャック・ルソー citoyen de Genève, Jean-Jacques Rousseau (1712-78) の著作で、1762年5月27日パリで「暗黙の認可」のもとに発行された。この通称『エミール』は教育論ではあるが、第4編の後半三分の二を占める「サヴォワの助任司祭の信仰告白」のなかで展開される自然宗教論が原因で、6月3日にはパリ警察が押収し、ソルボンヌが7日に告発。さらに9日朝パリ高等法院は有罪を宣告し、ルソーに逮捕令状を

発行した。このためルソーは9日午後パリ近郊モンモランシーからスイスに向けて逃亡し、以後1770年6月にパリへ戻るまで8年間ヨーロッパ各地を放浪する羽目に陥ったのである。

著者ルソーと同じく、著作『エミール』印刷・発行の経緯もいささか複雑である。18世紀のフランスでは、当局の厳しい検閲を避けるため実際にまたは名義上オランダで印刷・発行した著作や、



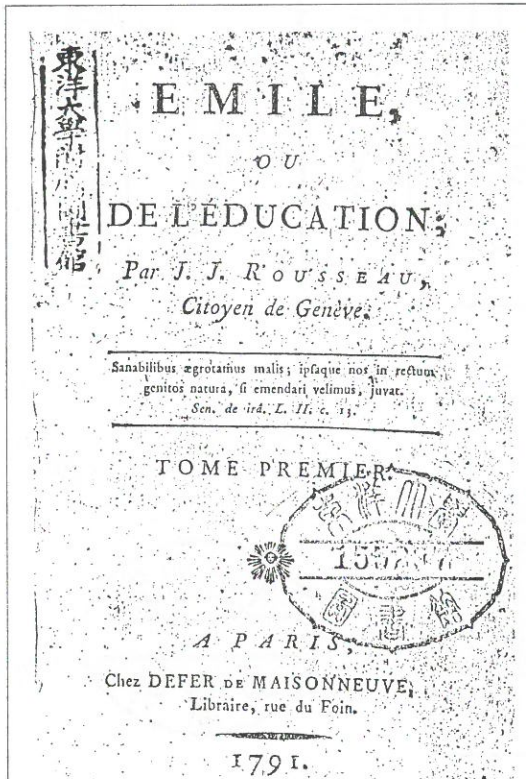
少年アキレウスを鍛えるケイロン  
エザン原画によるルイ・ル・グランの版画

告発・逮捕を恐れた匿名の出版物が多数あった。ルソーは匿名出版は断乎として拒否したが、パリのデュシェーヌ Nicolas-Bonaventure Duchesne 印刷、オランダのネオーム Jean Néaulme 発行の形式は止むをえないと認めている。

ところで1762年版は現在4種類確認されている。

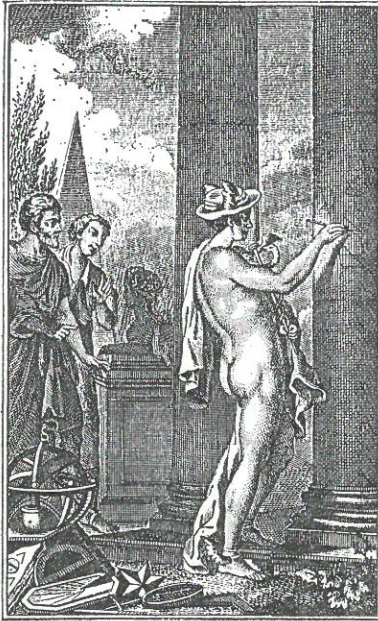
- 1)印刷：パリ、デュシェーヌ。発行名義：ハーグ、La Haye、ネオーム書店、8折版4巻本。
  - 2)印刷：パリ、デュシェーヌ。発行名義：アムステルダム、ネオーム書店、12折版4巻本。
  - 3)印刷・発行ともにアムステルダム、ネオーム書店。オランダ国王の允許と印刷。8折版2巻本。
  - 4)印刷・発行ともにアムステルダム、ネオーム書店。3)と同じ形式だが、扉に印刷地、発行書店名なく、国王の黙許、パリ版の複写と印刷。
- この他1)、2)の海賊版が多数発行されている。

本学図書館蔵『エミール』(K135.48:RT:35)



▲『エミール』第1巻の扉





◀ 学問の基礎原理を石柱に刻むヘルメス  
エザン原画によるルイ・ル・グランの版画

は残念ながら1762年の初版本ではない。1791年、パリ、ドゥフェール・ドゥ・メゾヌーヴ書店発行、布製装幀の12折版4巻本である。数種類ある書誌に本書は見当たらないが、大革命直後という発行年月日を考慮すると稀観書であると言えよう。第1巻は序文と第1編、第2編を、第2巻は第3編と第4編の前半約三分の一を、第3巻は「サヴォワの助任司祭の信仰告白」を含む第4編の残り三分の二を、第4巻は「ソフィーまたは女性」「旅について」を含む第5編をそれぞれ収めていて、初版本と同じ形式である。ただし特徴となる点は、

- 1) 初版本の序文 *préface* という見出しが複数形の解説 *explications* と変わっている。
- 2) 『エミール』は本来体系的著作ではないので、二、三の中見出しを除けば目次はないが、読者の便のための項目索引が第2巻末と第3巻末に詳しく載せてある。現在の流布本では省略されることが多いが、初版本と同じなので、ルソー読解の鍵の一つである自己愛 *amour de soi* や利己愛 *amour-propre* の記載箇所もすぐに分かる。
- 3) 初版本にはルソーの承諾を得て『エミール』に引用されたギリシア神話の人物たちを題材とした挿画が各編の冒頭に1葉ずつ計5葉挿入されている。息子アキレウスを冥途の川の水に漬けて不死身にする、海神ネレウスの娘テティス、

少年アキレウスを鍛えて駿足にする教育係ケイロン、学問の基礎原理を石柱に刻むヘルメス、讃美歌を歌い神々への崇敬を人間に教えるオルフェウス、動物に変身させえなかったオデュッセウスに身を任せる魔女キルケーの版画である。本書では第1巻の巻頭に最初の4葉を収めるむね記してあるが、どうしたことか挿画はケイロンとヘルメスの2葉しか見当たらない。

# EMILE ET SOPHIE, OU LES SOLITAIRES.

## LETTRE PREMIERE.

J'Étois libre, j'étois heureux, ô mon maître! Vous m'aviez fait un cœur propre à goûter le bonheur, & vous m'aviez donné Sophie. Aux délices de l'amour, aux épanchemens de l'amitié, une famille naissante ajoutoit les charmes de la tendresse paternelle; tout m'annonçoit une vie agréable, tout me promettoit une douce vieillesse & une mort paisible dans les bras de mes enfans. Hélas! qu'est devenu ce temps heureux de jouissance & d'espérance, où l'avenir embellissoit le présent; où mon cœur,

V 5

### ▲『エミールとソフィー』の扉

- 4) ルソーの死後1780年に初めて刊行された『エミールとソフィー、または孤独な人たち』*Emile et Sophie, ou les solitaires* という未完の小品がある。2人が不幸な運命に苦しむ書簡形式のこの物語は、現在は『エミール』とは無関係な別の作品と考えられているが、刊行当初は結末が小説めいた趣きのある『エミール』の続編と見做されていた。19世紀初頭までに発行された『エミール』には同時に収められることが多く、本書はそのはしりとも考えられる。

なお本書は、教育学の泰斗、故龍山義亮本学名誉教授ご家族寄贈の『龍山文庫』の一部である。

(文学部教授 みやじ・ひろゆき)



## 特集 東洋大学図書館スケッチ

### 1 創立者は喝破す

東洋大学の100年は附属図書館の100年でもあるでしょう。発足当初の蔵書は火災などで失われていますが、創立者・井上円了博士が蒐集された旧哲学堂図書館の蔵書は今も健在です。この蔵書は、明治維新前の著述を主とした重要なコレクションです。このことは国書「国書総目録」、仏書「仏書解説大辞典」という古典籍の合同目録に収録されていることで立証され、現在も利用者の多い図書群の一つです。

図書館が創立者の意志と運用する側の知識によって支えられているからには、まず創立者が喝破した一言にふれなければなりません。博士いわく「学校に図書館なきは恰も兵士ありて武器なく、鉄砲ありて火薬なきが如し、学生たるもの何程の研究を進めるとき何とも致すこと出来ず……」と。この一言は敗戦後の一時期、また大学の拡充期にと、それぞれの時代におもいかえされた言葉でもあるでしょう。

広く海外を行脚し図書館事情にも精通していた博士は自らも多くの著書、論文をあらわしながら国書、漢書、仏教書の収集充実をもって東洋学の樹立を願ったとききます。図書館は、この博士の収集思想を継承し内容の充実につとめてきましたし、戦後の社会科学系学部、工学部の設立により更に蔵書内容の多様化が促進され、総合的な蔵書

構成の結実をみるようになりました。現在の蔵書中、貴重書としての松姫物語等、絵巻奈良絵本は広く知られていますが、これは氷山の一角にすぎません。また堅実な個人コレクションの収蔵が全体に大きな支えになっているともいえます。中島、宇野、龍山、湯本と旧蔵者名を冠したコレクションは、利用者の要求によくこたえている図書群です。全体として白山、朝霞、工学部の三館あわせての蔵書数は70万冊を超えました。なお充足の過程にあるとしても、創立者の意志は受けつがれている、とみるべきでしょう。

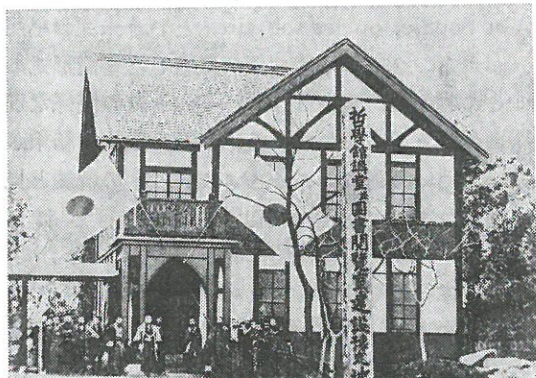
### 2 居合せた図書館学者

和田万吉先生といえば図書館に情熱を燃やした人々の大先輩でした。文献の収集、活用、維持管理と図書館業務の各分野をつめていく一つの体系が構築されます。

“図書館学”として、国内ではまだ形成期にあった分野を私立の大学で、はじめて系統的に講義されたのが和田万吉先生、大学は東洋大学で、大正11年のことでした。

田中敬先生（明治41年、本学支那哲学科卒）もまた、同時代に活躍された著名な図書館学者でした。本学を卒業した後、東北帝国大学図書館等の他大学をまわり大きな足跡を残しました。この足跡と共に、結実した研究成果は学位論文『図書形態学と、活版印刷発明史研究上へのその応用』として母校へ提出され“類を見ざる貴重な知識の成果……”（昭和31年3月審査）と評されました。この論文は『田中敬著作集（全6巻）』（早川図書、昭和54—57）に再録され、今も広範な人々への指針となっています。お隣りの中国から、きそって数十組の購入希望があったのも特記にあたいうることでしょう。

直接本学図書館の運営にかかわった方々ではないにしろ、この道のすぐれた先達が居合せた東洋大学として図書館界では共によく知られていることの一つでもあります。



哲学館校舎

### 3 戦後の改革

戦争で失うものが多かった時代に本学図書館は館員の必死の努力で蔵書の焼失をまぬがれています。また、国体に反するとして没収されそうになった文献を守り抜いて今日もある事実など、困難な時代に、もっとも基本的な姿勢をつらぬいた図書館でもありました。

敗戦後、この図書館を守った人々による改革は蔵書の集中管理、館長の公選制といった制度面、共通分類法、共通目録法による蔵書の再編成、今では当然のこととなった学生への館外貸出、レファレンス・サービスの実施などと、目ざましいものでした。

時代の推移で、次の改革にせまられている面もあるでしょう。現代的な課題としての情報化社会、国際化社会における図書館のあり方などは、発想の転換を含めて、来たるべき新しい時代に対応出来るようなシステムの改善を求められています。しかし、基本的な図書館のあり方を守り、なお語りつぐべき事の多い東洋大学図書館の100年であったとおもいます。

### ——文献ガイド——

#### 〔凡 例〕

- ・本学図書館につき、独立した刊行物はないので、公刊された文献のうち、比較的記載事項の多いものを選択しました。
- ・掲載の順序は書誌、年史、広報・紀要、利用案内、文庫目録、井上円了関係としました。その内は、刊行年代順です。

#### <書誌>

- ・東洋大学史資料目録 1986～87 [(白) 092.031 : T (工) 092 : T-4 (朝) 092 : T : 3]
  - ・井上円了関係文献年表、東洋大学井上円了研究会第三部会 昭和62[(白)092. 81 : T-3 : 2(工)(朝)未整理]
- #### <年史>
- ・東洋大学創立五十年史 昭和12 [(白)・(工)092 : T (朝)092 : T : 2]
  - ・東洋大学八十年史 昭和42 [(白)・(工)092 : T : 2 (朝)092 : T]
  - ・図録 東洋大学100年 昭和62 [(白)(工)(朝)未整理]

#### <広報・紀要>

- ・東洋大学広報 第1号(昭和37.12.20)～

- ・東洋大学図書館ニュース *KOSMOS* 創刊号(昭和41.6.1)～

- ・東洋大学報 創刊号(昭和44.11.5)～

- ・東洋大学史紀要 1(1983.3.31)～

#### <利用案内>

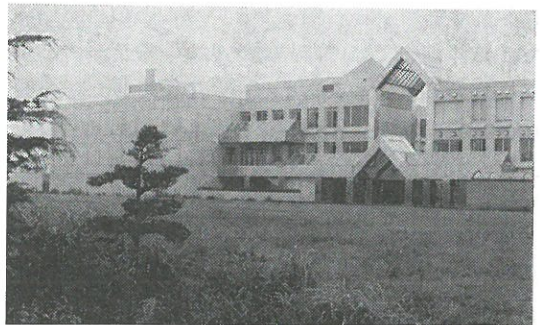
- ・図書館利用のしおり、特に現行のNo.2「図書館の沿革と現状」

#### <文庫目録>

- ・哲学堂図書館図書目録、井上円了編 大正5, 昭和60(復刻版) [(白)029.9 : T-3(朝)029.9 : I E]
- ・中島徳蔵先生寄贈図書目録 昭和45 [(白)029.9 : T-9(工)029.7 : T : 3]
- ・宇野脩平旧蔵書目録 1982 [(白)029.9 : T-9 : 2 (朝)029.9 : T-2(工)未整理]
- ・龍山文庫目録 1985 [(白)029.9 : T-9 : 3(朝)029.9 : T-2 : 2(工)029.7 : T : 2]
- ・湯本文庫目録 昭和62 [(白) 029.9 : T-9 : 4(朝) 029.9 : T-2 : 3(工)未整理]

#### <井上円了関係>

- ・学祖井上円了先生略伝・語録 中川理吉編 京北学園 昭和22 [(白)092.81 : NR]
- ・明治仏教の思潮 宮本正尊著 佼成出版 昭和50[(白)(朝)181.021 : MS]
- ・井上円了研究 資料集 東洋大学井上円了研究会第三部会 昭和56 [(白)092.81 : T-3(朝)092.81 : T(工)E092.81 : T]
- ・井上円了の思想 小倉竹治 茶倉書房 1986 [(白)0.92 : 81 : OT(朝)発注中, (工)整理中]
- ・井上円了の教育理念：新しい建学の精神を求めて 東洋大学創立100周年記念論文集 編纂委員会 昭和62 [(白)(朝)(工)未整理]
- ・井上円了研究 1-6 東洋大学井上円了研究会第三部会 昭和56～61 [(白)未分類, (朝)未分類, (工)E092.81 : T-2]



100周年記念朝霞図書館



# なるほど ザ・ハイテク (4)

## ハイテク競争と ゆとりと

今 川 宏

ヨーロッパアルプスの最高峰モンブランの20km南にレザルク (Les Arcs) というフランスのバカンス地があります。標高1,800m、アルプスの山々の景観をほしのままに眺望するそのホテルで“非晶質シリカの物理と技術”に関する国際会議が6月末から7月初めにかけて開催されました。100人ほどの研究者が集まり、5日間、起居を共にして朝から晩まで討論が行われました。シリカというのは二酸化ケイ素のことで、結晶状態(クォーツ=水晶)でも非晶質の状態でも広く使われています。この会議のテーマは非晶質シリカで、シリコン半導体素子中のシリカ絶縁層や石英ガラスに関するものが主でした。特に“大パワーレーザー光による石英ガラスの損傷”とか“半導体中のシリカ絶縁薄膜の高電場下での輸送現象”という、今後のハイテクの展開に深く関わるテーマに発表が集まっていました。私は文部省の科研費を受けて筑波の電子技術総合研究所、名古屋工業大学、いくつかの企業と共同で前者のテーマについて研究をスタートしたところなので、この会議の開催を聞いて好機と喜び発表論文を用意して参加しました。

会議の一つの印象は、ハイテクの世界では如何に早くテーマが移り変わるかということの再認識です。数年前までは“非晶質シリカ”をテーマとする国際会議では光ファイバーが主役でした。今回の会議では光ファイバーに言及した人はほんの数人で、大勢からいうと光ファイバーは基礎研究の裏舞台からは引上げ、実用化研究に移行したと言えます。やり尽されたテーマについて新機軸を出そうとするのは一般には効率の良い作業ではないし、非晶質シリカという優れた材料には新しい有望なニーズが生まれつつあることもあって、研究テーマの新陳代謝が活発に行われています。私た

ちのグループは、過去の基礎研究を発展させる形でテーマにいち早く取り組むことができた点で幸運でした。

あと一つの印象は、美しい自然と快適なホテルの中で豊かな人間的交流が行われたことです。夕食にたっぷり時間を掛けるフルコースというのはヨーロッパでは普通のことでしょうが、昼食もワインとビフテキ等で1時間以上掛けます。5日間もこれが続くと日本で多少ダイエットを心掛けていたのも水の泡です。特にバンケットの夜などはテラスでアルプスの雪景を楽しみながらのカクテルと雑談で始まり4時間半も掛りました。フランスの研究者も気軽に話し掛けて来てくれたし、特に私達の発表の座長に当たっている人は発表者のことを十分理解しようと熱心でした。バンケットのフルコースが終わったのは11時半でした。この間ずっと社交的会話です。隣に座ったのが、偶然私が論文を発表したことのある雑誌を編集しているエディンバラ大教授でした。向に座ったその夫人は心理的なトラブルを持つ子供達のためのボランティア活動に熱心で、私の妻が同じ様なことをしていたので自然に会話が広がりましたが、それでも一日が終わった時には頭の芯に疲労一語学疲れを感じました。

会議が終わった後で痛感したのは、日本でこれだけ豊かな国際会議を開くことは相当困難だろうということでした。レザルクのホテル料金は食事宴会等一切込みで参加者の負担は一日当たり1万2千円程度で、決して高くはありませんでした。

このように“ゆとりの文化”という面ではわが国との落差を感じてしまいましたが、研究発表の場では、手前味噌ですが、好評を得たのが慰めでした。我々の研究グループで一番若い20代の人を講演者に仕立てたのですが、OHPに工夫し、スピーチのリハーサルも充分した努力が報いられ、プレゼンテーションも内容もほめに来てくれた人が少なくありませんでした。今後も着実な向上を目指したいと思っています。

(工学部教授 いまがわ・ひろし)

## 日本文学資料展を見逃した人のために

## 日本文学資料展を見て

鈴木 望

東洋大学は、本年で百周年を迎え、それを記念しての日本文学資料展が開催された。他学でも百周年記念事業として貴重書展示が開催されているようである。本学の資料展は、単に貴重書を公開するというのではなく、(1)絵巻と奈良絵本、(2)百人一首と異種百人一首、(3)膝栗毛と明治の膝栗毛、(4)井上円了関係と四つのテーマを定め、系統的に資料を展示した所に特徴があった。絵巻・奈良絵本はかつて国文科長であった島津久基博士旧蔵本を主体としている。その多くは岩波文庫『続伽草子』の底本として使用されている。とりわけ、『小しきぶ』は別本で小型本、『松姫物語』は、絵巻物としての書写年代が古いものである。百人一首・異種百人一首は、本学図書館が最も蒐集に努めている資料である。本資料展では、百人一首が堂上家や学僧等ごく限られた間に広まりつつあった時代から庶民の間に広く流行するに至った近世・近代までの文献が系統的に整理展示されていて実に壮観であった。奈良絵本・百人一首・膝栗毛は、本文は固より絵も重要であり、絵の視覚的効果の為に、親しみやすい展示になっていた。特に膝栗毛には庶民的なユーモアが感じられた。日頃、国文学に縁がない方でも古典文学の世界に遊べるし、また楽しく学問的な展示でもあり、本学百周年に相応しい記念事業であったと思われる。

(すすき・のぞみ 大学院文学研究科国文学専攻  
博士後期課程1年)

百人一首と異種百人一首  
のことなど

斎藤 康江

先日「東洋大学百周年記念・日本文学資料展」が開催され、初公開の「羽衣」を含め、普段はなかなか見ることでできない多くの貴重な資料が公開されるなど、話題を集めていました。

私は百人一首と画種百人一首関係の資料に大変興味を持ちました。現代の私達の生活の中にもお正月のかるたとして存在し、一番身近な和歌と言えますが、本来は藤原定家の小倉山荘(庄)色紙和歌のための秀歌選であり、少なくとも庶民的な書物ではなかったのです。しかしそれが江戸時代には川柳や狂歌、俳句、漢詩などと融合しながら、庶民によって受け継がれていった点は非常に興味深いことと思いました。そこには、和歌と絵画の結びつき、又、かるたという形への変換も大きな理由となっています。三十六歌仙絵巻に代表されるように、和



歌と歌人の似せ絵が一つになることでそれまで流動性をもっていたもの(絵巻等)が、一つ一つ単独で存在するようになるわけです。そこへかるたの形態を取り入れることで遊戯性を備え、広く民衆の中に解け込んでいくことができたのではないのでしょうか。戯劇百人一首、百人一首古今狂歌袋等には当時の風俗が反映されているだけでなく、すでに百人一首が古典として庶民に浸透していた事実も伺え、大変興味深い資料展であったと思います。

(さいとう・やすえ 文学部国文学科4年)



## 哲学館出身者著作文内(その3)

### 凡 例

1. 出身者の配列は五十音順とした。
2. 人物ごとに氏名、卒業年次・称号、生没年、専門分野・職分、著作の順に示した。
3. 号、通称等を氏名の後に付した。
4. 書名の後に出版社、出版年、白山図書館の請求記号を( )で記した。

**正富由太郎**(汪洋) 明治37教育, 大正8講師号  
明治14-昭和42詩人, 歌人。豊麗な花(洛陽堂, 大正9, 911.56:MO:4)恋のゲエテ(洛陽社, 大正9, 942.62:MO)詩人スウィンバーン(新進詩人社, 昭和2, 931.563:MO)詩集松かげ(詩と歌謡の社, 昭和12, 911.56:MO:2)明治の青春(北辰堂, 昭和30, 911.102:MO)浅みどり空「詩と短歌」抄(北星堂書店, 昭和41, 911.56:MO)小鼓抄: 明治文学全集61巻(筑摩書房, 昭和40, 918.6:M-2:1-61)夏ひさしより: 明治文学全集61巻(筑摩書房, 昭和40, 918.6:M-2:1-61)夏ひさしよ

## 図書館 あ・ら・かると

### ★創立 100 周年記念日本文学資料展・東洋大学創立 100 周年記念展が開催されました★

○創立 100 周年記念日本文学資料展(昭和62年9月21日～9月26日) 丸善日本橋店 4 F ギャラリー 入場者数約3900人

○東洋大学創立 100 周年記念展



東洋大学創立 100 周年展(白山会場)

り: 明治文学全集64巻(筑摩書房, 昭和40, 918.6:M-2:1-64)正富汪洋全詩集(木犀書房, 昭和44, 911.56:MO:3)

**鷲尾順敬** 大正7講師号 慶応4-昭和16仏教史学者。日本仏家人名辞書(光融館, 大正6, 180.21:WJ)国文東方仏教叢書(国文東方仏教叢書刊行会, 大正14-15, 188.08:K)高僧物語(大衆仏教全集刊行会, 昭和12, 180.21:WJ:4)日本仏教文化史研究(富山房, 昭和13, 180.21:WJ:3)鎌倉武士と禅(大東出版社, 昭和17, 210.42:WJ)日本仏家人名辞書増訂再版(東京美術, 昭和41, 180.21:WJ:2)日本思想闘争史料(名著刊行会, 昭和44, 121.02:WJ)〔共編〕明治維新神仏分離史料(東方書院, 大正15-昭和4)

**和田性海**(不可得) 明治35哲学, 昭和3講師号 明治12-昭和37 真言宗僧侶, 布教師, 高野山真言宗管長。真言宗全書(高野町真言宗全書刊行会, 昭和12-14, 188.5:S-3)米布を巡りて(高野山出版局, 昭和28, 295.3:WS) (完)

朝霞(昭和62年10月12日～10月17日)

川越( " 10月24日～10月27日)

白山( " 10月30日～11月2日)

入場者約1,900人にも達し各々好評の内に終了しました。なお、『日本文学資料展図録』(65頁)も同時に発行されました。

### ★海外からの見学者★

11月5日, 国際交流提携校のストラスブール第1大学 ヘンリー・ヤーン教授が図書館を見学されました。



貴重書をご覧になる教授(中央)とその令嬢

TOYO UNIVERSITY LIBRARY INFORMATION BULLETIN **ΚΟΣΜΟΣ**

1987 秋 (No. 79) 1987年11月30日発行 編集: コスモス編集委員会 発行人: 剣持通夫 発行所: 東洋大学附属図書館 〒112 東京都文京区白山5丁目28番20号 Tel. 03 (945) 7314 ©東洋大学附属図書館 1987